

# 平成26年6月議会

## 足湯・健康の森を家族連れが利用しやすく

念願の足湯も完成し、子供連れをよく見かけます。

しかし、健康の森はその維持管理に多くの村費が使われているにも関わらず、閑散として健康の森のネーミングとはほど遠く、宝の持ち腐れになっています。

戸田川緑地のように子供が遊べる場所やバーベキューが出来るようにするなど、足湯と一体となって家族連れが利用しやすい環境を整える必要があると思います。

しかし、足湯付近は水はけが悪くそのような利用に適しません。

現状では健康の森も足湯も中途半端な状態です。

家族連れが利用しやすい環境を整えるとともに他の活用方法も含め改善をする必要があると思うが、

考えをお聞かせください。

答弁者 村長

### 利用いただけるよう啓発に努める

健康の森は、平成16年に整備され、散策路や築山を利用して、駅伝の練習や健康ウォーキングで活用するなど村民への周知を図っています。また、だれもが利用できる憩いの場として足湯を設置しました。健康の森と合わせて多くの皆さんにご利用いただきたいと考えております。

足湯や芝生広場へは自由に出入りができ、仮に芝生広場をバーベキュー等で使用することとなれば、火気使用による火災の問題や、使用後のゴミや煙等による景観や施設環境への影響などや、足湯への飲食物の持ち込みによる衛生環境が悪化することも懸念されることから、足湯周辺での火気使用や飲食を伴う利用については、ご遠慮していただきたいと考えます。また、芝生広場の水はけ対策としては、来年度に向けて改良する方向で検討するとともに、現在の景観を有効活用して家族連れが利用しやすい環境作りを進めていけたらと考えます。

## 村民の住宅に補助金を若手住民の経済的負担を軽く

定住化促進策として結婚祝い金が支給されることになりました。また、住宅開発も多くの村費を費やして行われようとしています。

住宅開発に反対する人に話を聞くと「何処の誰が住むか分からんのに何で村の税金を使う必要があるのか」でした。

村外から来てもらうことも必要でしょうが、プライオリティの第一は飛島村民だということです。言い方を変えれば村民が住宅を建てるのに何の恩恵もないのは不平等にならないかです。

定住化促進策として、住宅開発と同様に村民の建てる住宅に補助金を出すとかが、若手住民の経済的負担を軽くすることが一番効果的な本来の定住化促進策では無いか。

考えをお聞かせください。

答弁者 村長

### 居住用目的の造成土地に限り側溝整備は村で実施

現在の渚地区住宅地開発事業は、村の重点施策として位置づけ人口増加を図ると同時に、市街化調整区域内における適正な土地利用の誘導と優良農地の保全に配慮する必要があります。

そのための地区計画を策定し良好な住宅地を計画的に整備し、飛島村に住みたいと思われる方の要望に応えながら、将来的に懸念される優良農地の虫食い状態を防ぐなど重要な施策であります。住宅地開発においての道路、公園整備等は公共事業として村の負担で進め、造成事業費や給水事業費は土地販売価格に転化する計画です。

現在、インフラ整備に関する補助制度は、住宅造成工事に伴う新設側溝補助金、合併処理浄化槽設置費補助金があり、分家住宅として転用する場合は、この補助制度を活用いただいています。今回の住宅地開発事業は、優先的に活用してもらう住宅用地の整備であり、分家住宅などによる個別の助成制度とは性質の違う事業であります。

今後は、新設側溝補助金を廃止し、居住用の目的で造成した土地に限り、道路整備事業として実施する方向で検討します。